

に「国民皆歯科健診」が盛り込まれましたが、我々の結果はこの政策の有益性を裏付けると考えられます。海馬傍回はエピソード記憶の形成と保持に重要な領域です。元気なうちに歯を治療しておくことで高齢者になっても食事を味わうことができ、楽しい食事時間を過ごすことでエピソード記憶の形成と保持にプラスの影響を与え認知症予防につながると期待されます。

低ホスファターゼ症（HPP）と歯科

さらに歯科に関連する遺伝性疾患として低ホスファターゼ症（HPP）があります。沖縄は遺伝性疾患が多く、HPP も多い傾向があります。HPP は骨の石灰化障害を中心とする遺伝性代謝性疾患で、全身に重篤な症状が現れることがあります。早期診断が重要ですが、軽症型は見逃されやすいのが現状です。乳歯の早期脱落が侵襲もなく早期発見のよい指標になります。さらに自分自身が HPP と知らずに成人になり、歯科矯正治療を開始したところ永久歯が

連続して脱落した症例もあることから、症状の強弱、治療を行うか否かに関わらず早期診断しておくことが重要です。2015 年に新しい治療薬が開発され広く使用されるにつれ、成人型 HPP の患者も多く診断されるようになってきましたが治療方針は確立していません。成人型低ホスファターゼ症の診療ガイドラインは現在日本小児内分泌学会が主導して作成しており、歯科からもクリニカルクエスチョンを提案させて頂いています。

まとめ

従来のむし歯や歯周病に加えて口腔機能ケアとともに、歯科と関わる遺伝性疾患、認知症も念頭に置き、沖縄の地域に合わせた歯と口腔の管理が重要であり、歯科がその役割を果たしていく必要があります。歯科医療は、口腔の健康から全身の健康へと貢献する役割を担っており、医科との連携を深めながら、県民の健康増進に寄与していくことが期待されます。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成 23 年 4 月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

